

くるにゃん通信



愛媛県介護支援専門員協会を紹介します。

協会では3つの委員会に分かれて活動しています。



研修企画委員会

会員の資質向上を目的に研修を企画しています。その時々々の旬の話題や講師を探すのに苦労しています。また、会員の皆様からのアンケートも参考にしています。教会の運営は皆様の貴重な会費で行っています。研修を開催するには費用がかかります。愛媛県からの委託を受けるなど費用を補っています。

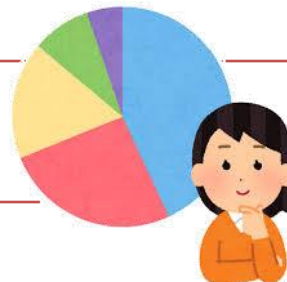
研修

調査研究委員会

研修終了後のアンケート、会員の意識調査、環境調査を行うことで会員の置かれている状況や課題を検討する材料になるように努力しています。地道な作業ですが活動の根拠となるものです。できるだけ多くの人の意見が反映できるように、ご協力をお願いします。

広報渉外委員会

くるにゃん通信の編集、発行や県協会の広報活動などを担っています。また、JRATへの協力や研修への参加、県協会のBCP作成にも取り組んでいます。協会に入って良かったと思えるような企画を考えていきたいと思えます。



役員紹介

役員からのメッセージと介護支援専門員になった
きっかけも語ってもらいました。



会長 矢川ひとみ 担当:研修企画委員会

介護保険制度開始前に法定研修の指導者になったのがきっかけ。「現場知らずとして教えるなかれ」と思い、介護福祉士養成校の教員を辞して介護保険の現場に足を踏み入れました。居宅のケアマネ、包括のケアマネ、様々な利用者、様々な現場を経験し、賢く、図太くなりました。愛媛県協会も来年で10年を迎えます。経験から得た知識や他の関係団体とのパイプを後輩につなげ、愛媛県のケアマネのボトムアップに貢献したいと思えます。

副会長 小泉 広美 担当:調査研究委員会

今年度から副会長を拝命しました松前町地域包括支援センターに勤務しております、小泉広美と言います。私は、介護保険制度が始まった時からケアマネとして勤務しております。きっかけは、介護職として勤務し、どんな仕事をするのか半分位しか理解していないまま、あこがれて試験を受けました。今では、天職と思いつつも、介護保険制度の変革に必死について行くのが「やっと」と言う状況です。こんな私ですが、当協会を会員の皆様と共により良いものにしたいと思っております。どうぞ、よろしく申し上げます。

副会長 岸 治代 担当:広報渉外委員会

介護保険制度は24年目を迎え、求められるニーズは多様化しています。専門職の定義の中に職能団体を有し、倫理綱領や介護支援専門員自らケアマネジメンの質を向上させていくことがあります。それによって社会の信頼を得て必要な職種として認知されることを目指しています。私自身は介護保険で新たに生まれた居宅介護支援事業所の立ち上げに関わる必要があり資格を取得しましたが、もともとは専任で介護支援専門員になる気持ちはありませんでした。作業療法士として臨床が楽しかったのですが、ケアマネジメント学会などでいろいろな分野の人が集まって議論を交わしているのが面白く、いつの間にかどっぷりと深みにはまってしまいました。

理事 一色 政人 担当:研修企画委員会

【ケアマネになったきっかけ】福祉大学を卒業後、介護施設に就職。その後施設の関連病院で在宅介護支援センターを開設することをきっかけに相談業務に従事、介護保険制度設立を機に居宅介護支援事業所を立ち上げるため介護支援専門員の資格を取得しケアマネジャーとして仕事をすることになりました。

【自己PR】背は無駄に高いです。目印に、また高所の作業にご使用ください。声だけは大きいです。研修などにご使用ください。

【理事になったの思い】前任の理事様方が作ってくれた道を何とか遠回りしながらでもいいのでつないで、少しでもいい協会にできるように微力ながら頑張っていきたいと思えます。よろしくお願ひします。



理事 小林 由佳 担当:研修企画委員会

愛南町出身。幼い頃から剣道と高齢者が好きで、地元の子供達に剣道を教えながら施設で介護福祉士として勤務していた。介護保険制度が開始となって、自分が思うような高齢者支援が出来なくなり、色々悩む中でもっと高齢者に寄り添う支援がしたいという思いで、ケアマネ試験を受け見事合格。その後も施設で勤務していたが、心機一転松山に出てきて憧れのケアマネジャーとして働き始め現在に至る。



理事 森長 寿幸 担当:調査研究委員会

はじめまして、大洲市の在宅介護支援センターフレンドでケアマネをしている森長寿幸です。ケアマネになったきっかけは、在宅のケアマネをしてみたいと思い、施設内の異動でケアマネ業務を行うようになりました。また、内子に転居してから内子町消防団に加入し、地域防災活動という名のもと20年間親睦会や旅行に熱心に参加しています。マイブームは、「男はつらいよ」の映画を見ながら晩酌をして、不適切な昭和の言動を懐かしむことです。おかげでγGTPが521になり高度脂肪肝の診断で、主治医より休肝日とダイエットを求められています。残念!! 皆さんも体には気を付けて、ケアマネ業務を楽しんでいきましょう。

理事 森下千賀子 担当:広報渉外委員会

【ケアマネになったきっかけ】介護保険が導入される前、当時パソコンを使いながら自宅業務ができるとの情報が耳に入り、チャレンジした事がきっかけです。実際はそうでもないのが現状でしたが、独立し1人ケアマネを経験。現在3人で居宅介護支援事業を行っています。仕事以外では、愛猫からの癒し、生け花、ピアノを弾く事などが好きです。今後も趣味を楽しみながら少しでも皆様のお役に立てればと思えますので宜しくお願い致します。



理事 島内 亜由美 担当:研修企画委員会

私が、ケアマネになったきっかけは、看護師として働く中で、退院後の生活に不安を感じている人に対して、生活全般のサポートが出来たらとの思いと、資格を取得する事で、スキルアップになると思ったからです。実際にケアマネをやってみると、案外自分にあってる仕事なのかなあと考えてます。色々な人と関わるので、様々な事を学ぶ事ができるのが、ケアマネの醍醐味だと思います。これからも、協会の理事として、ケアマネの未来を見据えた活動をしていきたいと思っています。

理事 石川 香織 担当:調査研究委員会

スキルアップのために、介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士と資格を取る中で、介護支援専門員にもチャレンジしました。ケアマネジャーは、『出会い』や『縁』の繰り返しであり、利用者さんやご家族と関係を紡いでいながら共に歩いていけるところに魅力があると思います。今回も、理事のお声掛けいただき、これも何かの縁と思い、引き受けました。共に頑張っているケアマネジャーの皆さんに何か貢献できればと思っています。

理事 中矢 英孝 担当:広報渉外委員会

前職は作業療法士でした。職場変更を考えていた時期に、先輩が介護支援専門員になったことがきっかけでした。介護保険の知識がなかったため、勉強になると思い飛び込みました。様々な方と繋がり、困りごと等を協会にあげ、少しでも愛媛でのケアマネジメントをやりやすいようにしていきたいです。好きな事は飲み会、キャンプ、バイク、アニメです。よろしくお願いします。

第10回四国ブロック大会研究大会 in かがわ

「今こそ求められる地域共生社会における介護支援専門員の役割」

～多様化・複雑化した社会における役割を考える～

令和6年11月23日(土)10:00～15:30 開催

パネルディスカッションに愛媛県介護支援専門員協会の代表として参加しました。四国四県の介護支援専門員が集い、地域の特性を活かした取り組みの発表でとても刺激を受けました。**来年度は愛媛県で開催します。**皆様のご参加をお待ちしています。



貴重な発表を
ありがとうございました。

よろしくお願いします



耳より 活動紹介



(株)MMCドリームサービス 田淵 順子

街路樹も少しずつ色づき始めて、やっと暑さから解放されて気持ちの良い季節となりました。自宅への訪問にも良い季節です！（※令和6年10月に記事をいただきました。）

介護保険改正、猛暑、災害支援対策などに追われ、目まぐるしい毎日を送っている中、私は、令和6年8月から、介護職を応援するラジオ番組を南海放送で受け持つことになりました。現在、毎週土曜日17時50分から18時に放送されています。

タイトルは、「**LIVING TOGETHER!! フレー、フレー、CARE STAFF!!**」です。

その経緯を少しお話しさせていただきます。

きっかけは、介護職員の疲弊を感じたことからです。特にコロナ禍の3年間は、感染対策や人材不足、利用者の感染対応など、日常業務以外の負担が大きく、現場は大混乱でした。また、利用者の健康状態を守るために家族の状況を伺うと、時には厳しい批判や叱責を受けることもありました。介護支援専門員の立場からも本当に介護現場の疲弊を感じました。また、優秀でやる気のある人材が次々と離職・転職していく状況を目の当たりにし、これでは加速する長寿社会において介護スタッフの不足が大きな社会問題に発展していくことの危機感を日々感じていました。国や自治体も様々な対策を講じてくださいましたが、経営面もさることながら現場職員の心身の疲労が深刻であると感じました。

その頃、昨年11月「日本死の臨床研究会」の全国大会が松山で開催されました。

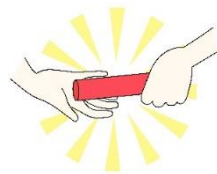


当初の予定よりコロナ禍の影響で3年間の延期を余儀なくされましたが、松山ベテル病院の中橋院長を実行委員長として、愛媛県民文化会館にて盛大に行われました。その際、中橋先生が南海放送ラジオのプレゼンターを務めておられ、私もゲストとしてお招きいただきました。

その番組では「看取りを文化に」というテーマでケアマネージャーとしてできることを話す機会をいただきました。その時、医療関係者は学会やメディアなどで発信の場が多くある一方で、介護現場の職員にはそのような機会が少ないのではないかと感じました。

そこで立ち上げたのが、「**LIVING TOGETHER!! フレー、フレー、CARE STAFF!!**」というラジオ番組です。私自身、番組制作について何も知らなかったのですが、1年通しでの番組を持つにはかなりの予算が必要であることがわかりました。コロナ禍の影響で経営も厳しい中、弊社からの資金だけで番組を作るのは難しく行き詰まっていたところ、三浦保基金への応募を勧められ、準備を整えて公募したところ、見事通過して助成金事業として始めることになりました。公募時のタイトルは「共生社会へのまちづくりに貢献『介護職の応援』」とし、愛媛県の介護現場に焦点を当て、介護職の魅力を発信しようと考えました。

介護従事者が自信と誇りを持って仕事を続けられるよう、特に若い介護職員の思いや、高齢者の晩年を支える懸命な姿を紹介することを目指しています。バトンを渡しながら愛媛県下の介護職員の皆さんの取り組みをなるべく多くご紹介していきたいと考えています。



この小さな取り組みが、やがて多くの人々をつなぐネットワークとなり、広がっていくことを願っています。介護職員の方々が仕事のやりがいや苦労を共有する事で、孤立感から解放され、この尊い仕事の喜びを感じられるようになれば、それは介護を受ける高齢者にとっても、私たちの未来にとっても、社会の大きな財産となると信じています。

番組が始まって3ヶ月が経ち、ようやく私自身も少しずつ慣れてきました。ゲストの皆様の素晴らしさを引き出せるよう、事前の打ち合わせはしっかり行いますが、収録当日の台本はなく、ほとんどアドリブで会話を楽しんでいます。特に、介護に従事している皆さんの深い思いに触れるたびに、私自身がとても感動しています。

番組への反響も様々です。ガソリンスタンドの店員さんや利用者の方々、同業者の皆様からも感想をいただいております。「とても面白くてためになる」「自分も介護職をしてみたいな」「お風呂が自宅に来るサービスがあるなんて知らなかった」「介護職の方を大切にしないきゃいけないね」といった声が届いています。まだ聞いていない方も多いかと思いますが、アプリをダウンロードすればいつでも過去の放送を聴くことができます。

この番組は介護職の皆さんを応援するためのものです。次は、あなたに出演依頼をすることもかもしれません。ぜひ番組を聴いていただき、一緒に介護職の皆さんを応援していただければ幸いです。そして、晩晴を貴ぶ仕事に誇りを持ち続けたいと考えています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



『LIVING TOGETHER フレー、フレー、CARE STAFF!!』

毎週土曜日 17:50-18:00 RNB 南海放送で放送中！

編集部より 素晴らしい発想と行動力です。お誘いのあった方はぜひご協力ください。
田淵さん、投稿いただき、ありがとうございました。



ちょっとひと息



介護保険が始まって間もない頃のお話です。

99歳のハナさん(仮名)が自宅で入浴を待っています。

当時、利用していた訪問看護ステーションで簡易入浴の浴槽を所有していて、それを看護師さん二人が組み立てながら、ご家族と天気やハナさんの話題で和やかな時間が流れていました。

ハナさんは寝たきりで口数も減って童子のような表情です。少しずつ浴槽が組み立てられるのを見ながらぽつとつぶやきました。「棺桶に入る練習？」と。

その場にいたお嫁さん、看護師さんは目を丸くして、ハナさんを振り返ります。ハナさんの邪気のない表情を見ながら、誰かがぷつと吹き出しました。「はなさん、棺桶じゃないよ。お風呂よ。気持ちいいよ。」ハナさんは不思議そうな表情を変えず、お湯につかります。そして1週間後にご家族に見守られながら旅立たれました。100歳になる数日前だったと思います。今でもときどき思い出しますが、あんなゆったりした時間を利用者やご家族と持ちにくくなっていると感じるのは私だけでしょうか。

🌸この話をアイスブレイクで話したことがあります。もし、知っている人はかなりベテランさんですね🌸



発行元

一般社団法人
愛媛県介護支援専門員協会
〒791-0244
愛媛県松山市水産町90-1
愛媛県介護支援専門員協会事務局
Mail
ecma20150418@gmail.com

編集後記

いつまでも暑いねと言っていたのが急に冬支度になりました。体も心もついていけない状況で体調を崩す方も多そうです。皆様もしっかり食べて良質な睡眠で免疫を高めてください。今回の特集は県協会の紹介をさせていただきました。役員紹介の記事で少しでも人となりが伝わり、身近な存在として感じて下されば幸いです。よろしくお願いいたします。K